

災害調査速報

令和8年熊本地震の被災地調査

日時：2026年8月7日 - 9日

場所：熊本県 宇城市、氷川町、八代市 （+ 熊本市、嘉島町）

目的：被災地の文化財の損壊状況の調査

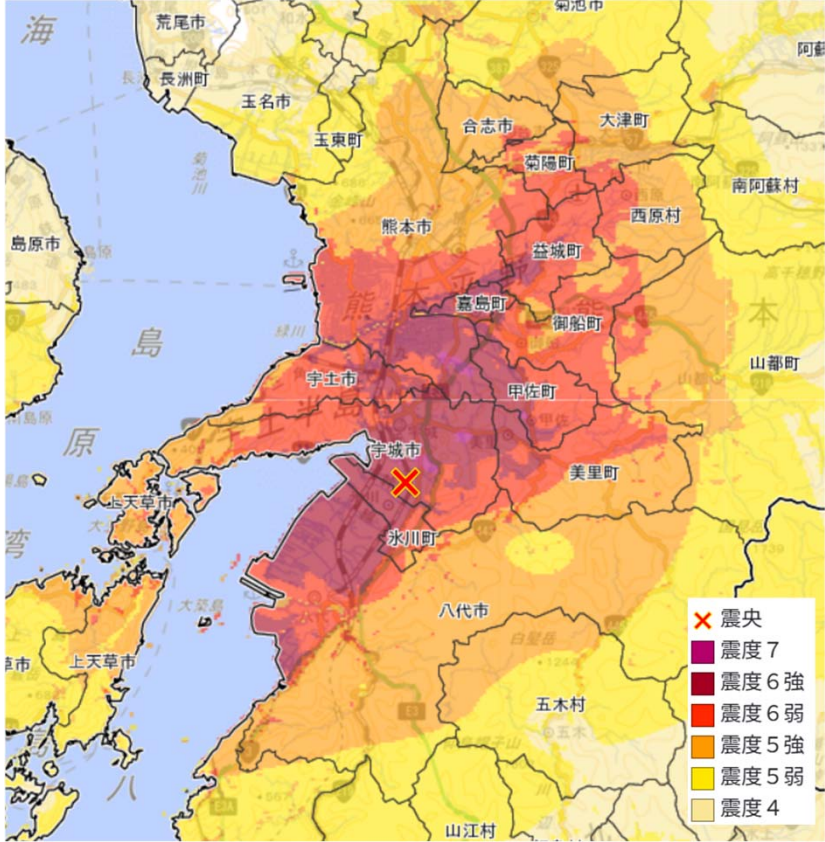
京都大学防災研究所気候変動適応研究センター 准教授 藤見俊夫

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 教授 星野裕司

文責：藤見俊夫 fujimi.toshio.7x@kyoto-u.ac.jp

令和8年熊本地震の概要

日時 令和8年7月28日16時27分
マグニチュード 7.1 最大震度 震度7



出典：気象庁「推計震度分布図」
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#10/32.658/130.869/&contents=estimated_intensity_map

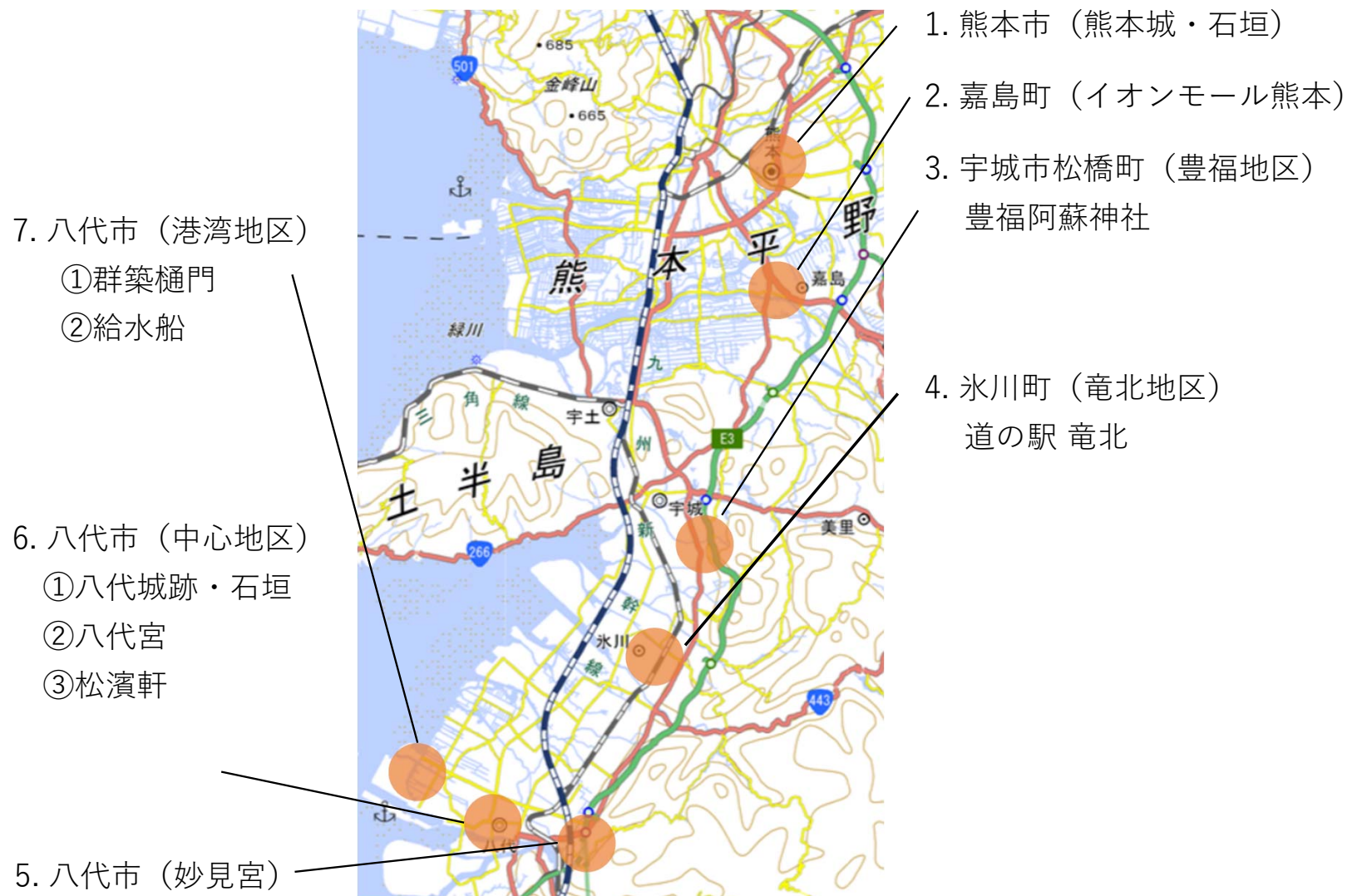
人的・家屋被害等の状況（8月9日14:00時点）

	人的被害（人）		住家被害（軒）				
	避難者	死亡	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	未確定
熊本市	310	0	0	0	0	1,842	5,285
宇城市	2,973	3	200	0	800	3,600	0
氷川町	273	5	163	0	195	903	0
八代市	2,373	20	320	0	0	0	2,180
熊本県	6,183	39	699	20	1,025	7,818	11,100

出典：熊本県災害対策本部（2026）「令和8年熊本地震による人的被害等の状況（8月9日14時00分時点）」

今回の調査地

出所：国土地理院「地理院地図GIS Map」



1. 熊本市（熊本城・石垣）



2. 嘉島町（イオンモール熊本）



3. 宇城市松橋町（豊福地区） 豊福阿蘇神社



4. 氷川町（竜北地区）道の駅



5. 八代市（妙見宮）



6. 八代市（中心地区）①八代城跡・石垣



6. 八代市（中心地区）②八代城跡・八代宮



6. 八代市（中心地区）③松濱軒



7. 八代市（港湾地区）①群築樋門

※被災による大きな損傷なし



7. 八代市（港湾地区）②給水船



雑感（8月8日・9日時点）

- 被害は広範囲に面的に生じているというよりも、局所的に集中した被災箇所が散在しているとの印象を受けた
- 損傷した家屋の大半は古い木造家屋であり、新しい家屋では目立った被害はほとんど確認されなかった
- 神社や寺院などの木造文化財では、大きな損傷が目立った
- 熊本城および八代城跡では石垣に被害が生じており、特に石垣の隅角部で崩落が多く確認された
- 国道3号線や県道14号線では、一部で渋滞が見られたものの、交通は比較的円滑に流れていた
- 生活道路の一部が、倒壊した塀や家屋によって塞がれていた。調査中には、地元の方から「通行に不便で困っている」との声も聞かれた
- コンビニエンスストア、スーパーマーケット、飲食店などのチェーン店は、ほぼ通常どおり営業していた
- 一方、個人経営の店舗や地元資本の店舗の中には、まだ営業を再開できていないところが多いように見受けられた